

産・学・官の知的ノウハウを融合

社会的信用をアピール シュビン
大学と組み新産業創出へ 中森氏
生き残るための指導を 中山氏

家(こ)で会場から「意見が聞かれます。東電テクノプラザに入居するシュビン・アンソニエツ社長、入居の利点、改善点などを話して下さい。」

シュビン・アンソニエツ社長の「VDE」という第三者認証機関の日本代表事務所として、電子部品や情報機器、産業機械などを国際的に通用する製品にするための設計支援を行い、その後、国際的な規格試験で認証する業務を行っています。また、今年から「フルトウス(次世代近距離無線通信技術)」に対応した無線機器関係の認証試験事業も始めました。

東電テクノプラザに入居した利点は、社会的なアピールができること、居る設備がそろっていること、最初から単独で高価な設備をそろえることは困難です。ここでは行政のサポートや産学官交流の流れができており、電波暗室などの設備がそろっています。

一方、県市にお願したいのは、開発、研究を主体とした「EMC試験室」などの場合、製品の安全性や品質の試験評価を行う際、一部に国際的なEMC規格に準じていないケースや、規格の改定、変更、追加に対応できていないのが現状です。製品を売るための試験にも対応していただきたいと思っています。

家 ナノテック社長の中森秀樹さんにもお聞きしたいと思います。中森さんは早い時期から産学共同研究に取り組む一方、最近では東電テクノプラザの入居企業と共同ビジネスを始めたそうです。

中森 私も平成元年に見学がメインで、東電テクノプラザに入居するシュビン・アンソニエツ社長、入居の利点、改善点などを話して下さい。

シュビン・アンソニエツ社長の「VDE」という第三者認証機関の日本代表事務所として、電子部品や情報機器、産業機械などを国際的に通用する製品にするための設計支援を行い、その後、国際的な規格試験で認証する業務を行っています。また、今年から「フルトウス(次世代近距離無線通信技術)」に対応した無線機器関係の認証試験事業も始めました。

モノづくり体制の拡充を 藤井氏 大学、研究所と連携強化 高田氏



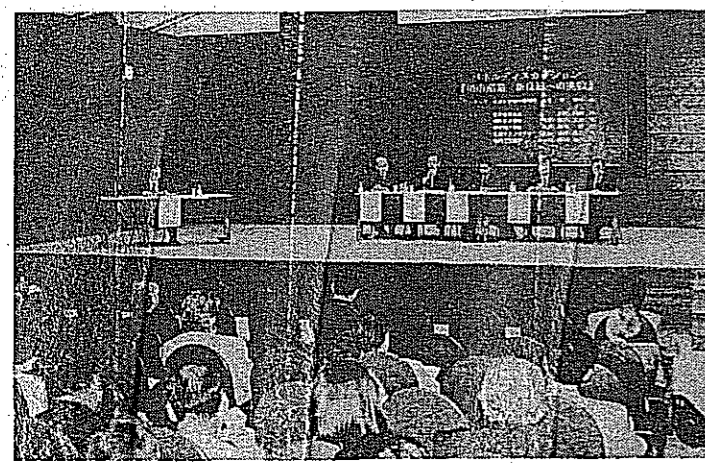
藤井 美昭氏
 ナノテクノロジーの研究者として、産学官連携の推進に努めています。

家 続いて藤井さんに柏市産業の将来に向けた提言をお願いします。

藤井 では、提言させていただきます。まず東電テクノプラザは、平成15年10月に入居企業のタイムリミットを迎えるため、研究成果を「モノづくり」に生かすための投資工場といった機能施設の整備が必要です。これに加え、つくばエクスプレスが平成17年に開通し、東京との距離が狭まることから、モノづくり体制の充実に努めるべきです。

高田 藤井さん、柏市産業の将来に向けた提言をお願いします。

藤井 では、提言させていただきます。まず東電テクノプラザは、平成15年10月に入居企業のタイムリミットを迎えるため、研究成果を「モノづくり」に生かすための投資工場といった機能施設の整備が必要です。これに加え、つくばエクスプレスが平成17年に開通し、東京との距離が狭まることから、モノづくり体制の充実に努めるべきです。



柏市産業の将来像について話し合われた



ナノテック社長 中森秀樹氏

社長、ニッサンキの中山社長にお話しして表面処理事業を始めました。私も従業員30人、年間10億円の小さな会社ですが、新しい産業をつくろうと努力しています。柏市は機械金属業も盛んなため、マッチングが図れると思います。

家(こ)から柏市産業の21世紀の姿、将来像に迫りたいと思います。川鍋さんには、柏市産業の活性化にインパクトを与える「つくばエクスプレス(常磐新線)」の開通、それに伴う柏市のランドデザインなどについて伺えますか。

川鍋 つくばエクスプレスの開通で、柏市北部は大きな影響を受けると思います。これに先立ち、柏市は平成11年3月に新しいモノづくりの拠点整備計画を策



ニッサンキ社長 中山明典氏

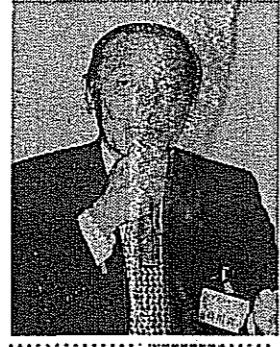
人の出合いに促さざるを得ないと思います。かつては産学官連携というところ、大手企業の特権と見てきましたが、人との出会いによって、中小・零細企業にも可能性が出てくることを経験しました。

幸いにもベースキャンパスとなる東電テクノプラザがあり、柏市や商工会議所などにも、私も積極的にベースキャンパスづくりに加わっていきたく考えています。さらに私も柏市に貢献したいと考えています。また、センタリーに入居できるそうです。

東電テクノプラザも入居期間があるため、卒業した企業が入居できる工業団地をぜひ整備していただきたいと思っています。

家 会場にもお聞きしたいと思います。ニッサンキ社長の中山明典さん、お願ひです。

中山 私どもは金属製品を表面処理する「ショットブラスト」の製造・販売を手がけています。この装置は非常にユニークなもので、大小メーカーがひしひしと競争が激しい業界です。そのため、20数年前に「何かの特化しない生き残れない」と危機感を抱き、非鉄分野に目を向け、テクノプラザ機能がうまくかみ合っていると感じました。本日ありがとうございます。



高田喜正氏

高田 藤井さん、柏市産業の将来に向けた提言をお願いします。

藤井 では、提言させていただきます。まず東電テクノプラザは、平成15年10月に入居企業のタイムリミットを迎えるため、研究成果を「モノづくり」に生かすための投資工場といった機能施設の整備が必要です。これに加え、つくばエクスプレスが平成17年に開通し、東京との距離が狭まることから、モノづくり体制の充実に努めるべきです。

高田 藤井さん、柏市産業の将来に向けた提言をお願いします。

藤井 では、提言させていただきます。まず東電テクノプラザは、平成15年10月に入居企業のタイムリミットを迎えるため、研究成果を「モノづくり」に生かすための投資工場といった機能施設の整備が必要です。これに加え、つくばエクスプレスが平成17年に開通し、東京との距離が狭まることから、モノづくり体制の充実に努めるべきです。

- 出席者** 藤井 美昭氏
 坂口 正明氏
 岡本 毅氏
 高田 喜正氏
 川鍋 利雄氏
 コーディネーター 泰弘氏
- パネリスト**
 柏商工会議所副会頭 藤井 美昭氏
 坂口 技研社長 坂口 正明氏
 岡本 硝子社長 岡本 毅氏
 東電テクノプラザ所長 高田 喜正氏
 柏市経済部長 川鍋 利雄氏
 コーディネーター 泰弘氏
 東京大学物性研究所教授